

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社オリエンタルランド（証券コード:4661）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA

■格付事由

- (1) 舞浜地区で東京ディズニーリゾートを運営する。主力のテーマパーク事業では、キャラクターの高い知名度と豊富な運営ノウハウに加え、アトラクションやイベントの効果的な投入により高い集客力を有する。24年6月に、東京ディズニーシー（TDS）の新テーマポートであるファンタジースプリングスが開業している。また、新規事業となるクルーズ事業への投資を28年度就航に向け進めている。
- (2) コロナ禍で一時落ち込んだ業績は回復しており、足元では高い利益水準が維持されている。チケットの価格改定やディズニー・プレミアアクセスなどにより、入園者一人当たりの売上高が上昇している点が奏功している。また、テーマパーク事業やクルーズ事業への投資など大型投資が続いているものの、中期的なキャッシュフローの見通しを踏まえれば強固な財務構成は維持できるとみられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 26/3期営業利益は1,600億円と前期比7%減の計画である。人件費や、メンテナンス費用などの諸経費が増加する見通し。27/3期以降も現状程度の利益を確保できると見られる。TDSの25周年イベントが26年4月より予定されており、また東京ディズニーランドでは一部エリアのリニューアルが進んでいることなどから、入園者数及び一人当たり売上高は引き続き高い水準で維持すると見られる。今後は、混雑の緩和及び顧客満足度の向上を図りつつ、入園者数の底上げが図れるかについて注目していく。
- (4) 25/3期末の自己資本比率は67.9%となった。テーマパーク事業やクルーズ事業などの成長投資により借入は増加傾向にあるものの、依然ネットキャッシュを維持しており財務体質は良好である。クルーズ事業への投資額は小さくなく一定の財務負担が見込まれるが、中期的なキャッシュフローの見通しを鑑み、財務への影響は限定的であるとみている。ただ、新規事業となる点は考慮して、引き続き投資及び事業計画についてはフォローしていく。

（担当）井上 肇・田島 祥

■格付対象

発行体：株式会社オリエンタルランド

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年1月25日	2026年1月23日	0.230%	AA
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年1月25日	2029年1月25日	0.305%	AA
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年9月17日	2027年9月17日	0.200%	AA
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年9月17日	2030年9月17日	0.290%	AA
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年9月2日	2026年9月2日	0.090%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 22 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 8 月 28 日	2029 年 8 月 28 日	0.671%	AA
第 23 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400 億円	2024 年 8 月 28 日	2031 年 8 月 28 日	0.935%	AA
第 24 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	600 億円	2024 年 8 月 28 日	2034 年 8 月 28 日	1.258%	AA
第 25 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2025 年 10 月 9 日	2030 年 10 月 9 日	1.443%	AA
第 26 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2025 年 10 月 9 日	2032 年 10 月 8 日	1.798%	AA
第 27 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	500 億円	2025 年 10 月 9 日	2035 年 10 月 9 日	2.091%	AA

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年1月14日
 2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：井上 肇
 3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
 4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）として掲載している。
 5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社オリエンタルランド
 6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
 7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
 9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると暗示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他の責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関するものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回することができます。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル